

林町小学校 4年 国語「夏の楽しみ」

授業のねらい

○夏の言葉を用いて、俳句を作成する。

ICT活用の工夫

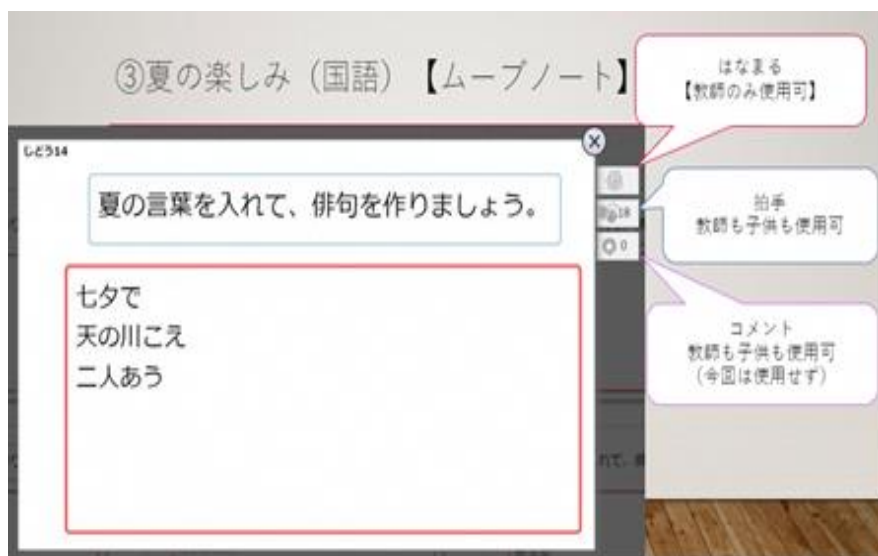
①ミライシード「ムーブノート」の活用

ムーブノートで1人1句、俳句を作成し、提出する。その後、広場を見ながら、1人3句まで、内容がよいと思った俳句に拍手をする。拍手が多かった人の作品から数名、全体で音読する。

（教員が全員に拍手することで、全員拍手がもらえる環境を整える。）

②支援が必要な児童への対応

広場を見て、作品を考えてもよいとする
ことで、自分ではなかなか思いつかない児童
も、自分の作品を完成させることができた。



児童の様子

○児童が選択できる俳句の数に制限をかけたことで、真剣に友達作品を読み、よいところを見つけようとする姿勢が見られた。

○全員が1つ、作品を完成させることができ、達成感を得ることができた。

成果

○拍手が多い児童の作品を音読することで、よい点を全体で確認・共有することができた。

課題

○同じような言葉を使用した俳句が多くなってしまった。作成前に児童の夏のイメージをより膨らませた方が良かった。

